

うさね



市議会だより

令和6年

5月1日

令和6年
3月議会号 No.77

CONTENTS

P2~P5 令和6年度予算概要

P6~P8 主な議案等

P9~P12 市政を問う!一般質問

P13 常任委員会報告

P14 中学生・高校生との交流

P15 議会DX推進検討会報告

P16 市民の声、表紙紹介

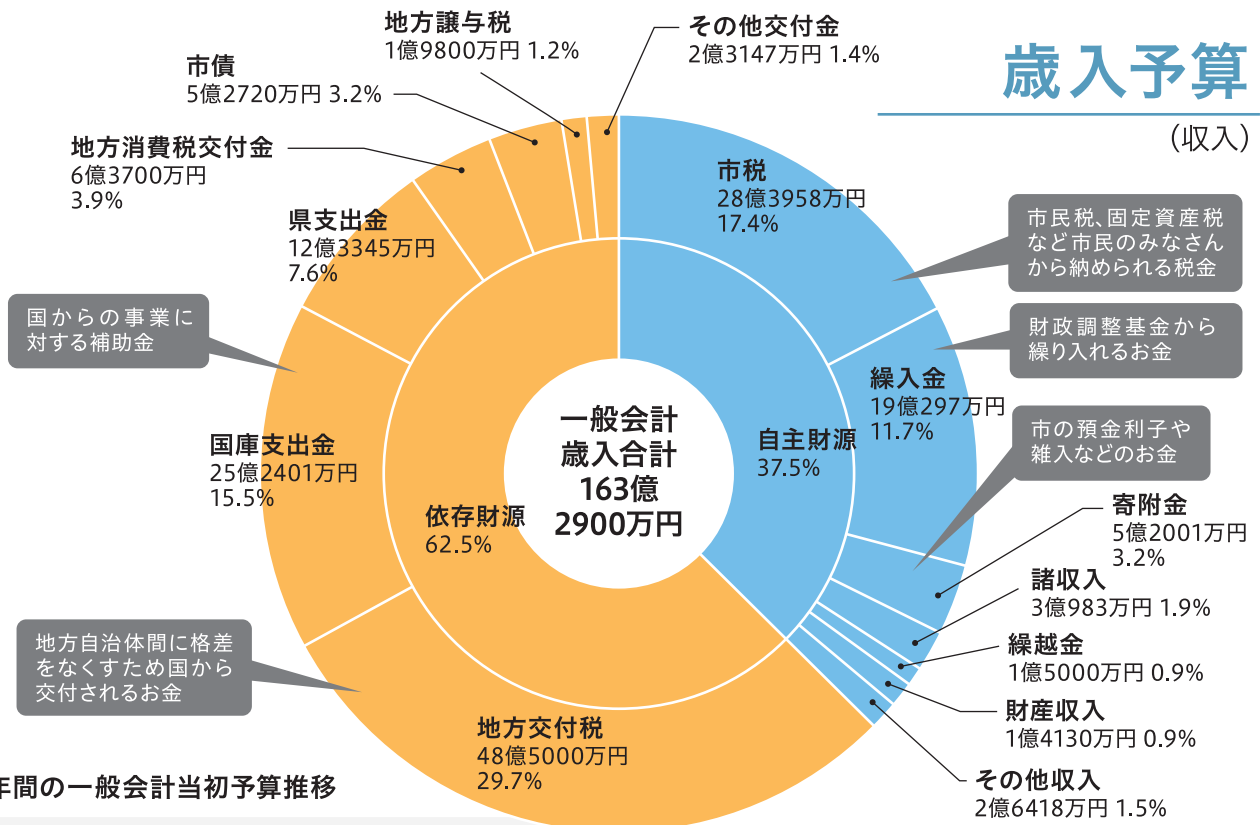
浮羽中学校の生徒さん

2900万円

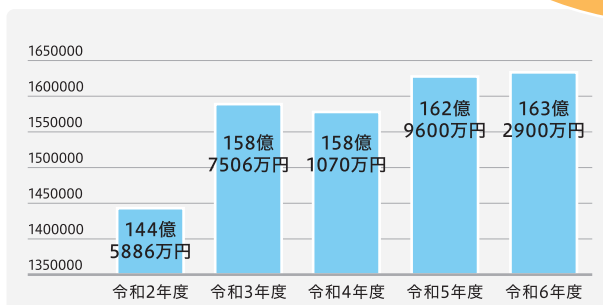
令和6年度の予算は、うきは市長の任期が7月14日までのため、新規事業を極力抑え、継続事業が主な骨格予算となっています。しかし、昨年の人事院勧告による市職員若年層に重点を置いた給与改定、今年度から会計年度任用職員処遇改善としての報酬改定及び勤勉手当新設により、人件費が全体で5.1%上昇しています。総務費は、デジタル化推進費・脱炭素地域づくり事業費が増え7.9%増加しています。また、民生費は児童手当の拡充と障害者通所・介護費等が増え8.0%増加しています。その結果、全体予算は、前年度当初予算より0.2%、3300万円増加することになります。4日間にわたり、全議員参加の予算特別委員会で審査・質疑を行い、全会一致で可決することとしました。

四捨五入のため誤差があります。

一般会計・特別会計			
会計区分	令和6年度当初予算	前年度対比(増減額)	増減率
一般会計	163億2900万円	3300万円	0.2%
国民健康保健特別会計	38億719万円	△3818万円	△1.0%
後期高齢者医療事業特別会計	5億8128万円	3416万円	6.2%
自動車学校特別会計	1億4733万円	△118万円	△0.8%



5年間の一般会計当初予算推移



市債(借金)と基金(貯金)の状況 (令和5年3月末・一般会計分)

市債(借金)	110億8453万円
市民1人当たり	39.6万円
基金(貯金)	131億3075万円
市民1人当たり	46.9万円

令和6年度予算 骨格予算 163億

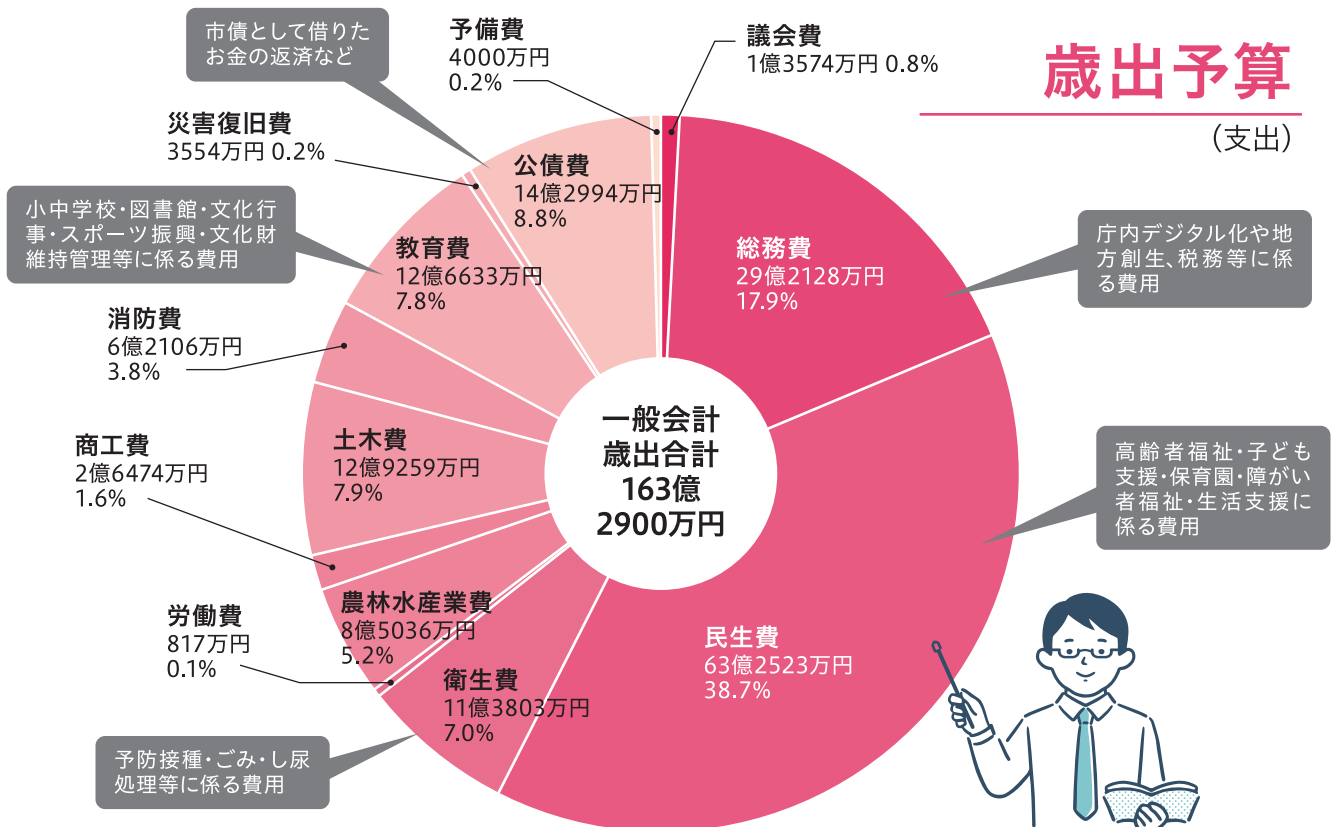
公営企業会計

		令和6年度当初予算	前年度対比(増減額)	増減率
簡易水道事業	収益的収入	6,907万円	△304万円	△4.2%
	収益的支出	6,767万円	△378万円	△5.3%
	資本的収入	0	0	0.0%
	資本的支出	719万円	10万円	1.4%
下水道事業	収益的収入	13億2568万円	△1億4131万円	△9.6%
	収益的支出	12億9273万円	△5,615万円	△4.2%
	資本的収入	16億5241万円	7億8835万円	91.2%
	資本的支出	19億9151万円	6億2623万円	45.9%

※収益的収入・支出……事業運営(経営)に伴う収入や支出
 ※資本的収入・支出……補助金や債務による収入や施設維持のための支出

歳出予算

(支出)

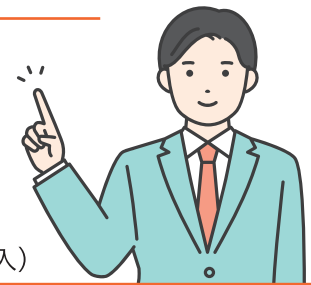


一般会計 歳出 性質別内訳表

(単位:千円)

人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	投資的経費
26億598万円	26億783万円	2億1455万円	37億2211万円	25億2133万円	7億9501万円
投資及び出資金	積立金	繰出金	公債費	予備費	合計
3億1000万円	6億920万円	14億7307万円	14億2994万円	4000万円	163億2900万円

令和6年度は こんな予算になりました。



金額は万単位（四捨五入）

税収を増やします。

ふるさと・うきは「まごころ寄付金」目標5億円

- ふるさと納税業務管理委託料 2082万円
- ふるさと納税コンサルティング委託料 935万円
- ふるさと納税ポータルサイト利用料 6475万円

市民生活を便利にします。

- コンビニエンスストア収納業務委託料 279万円
- コンビニ交付導入業務委託料 2365万円
- コンビニ交付クラウド使用料 195万円
- 地域公共交通計画策定業務委託料 880万円
- 地域路線バス対策補助金 1206万円
- デマンド型乗り合いタクシー運行委託料 180万円
- 市バス運行委託料 333万円



福祉事業を進めます。

- 社会福祉協議会運営費補助金 4500万円
- 介護予防・生活支援体制整備事業委託料 800万円
- 子育て見守りおむつ定期便事業委託料 1267万円
- 一時預り事業費補助金 1144万円

農林業を支えます。

- 農業経営者スキルアップ事業費補助金 800万円
- 農業振興費 10億405万円
- ため池等整備事業費負担金 5795万円
- 林業振興費 1億3243万円

インフラ整備を進めます。

- ラウンドアバウト中央島工事費負担金 300万円
- 西隈上団地PFIアドバイザー業務委託料 1600万円

脱炭素の取り組みを進めます。

- 脱炭素先行地域づくり事業執行事務委託料 3422万円
- 脱炭素先行地域づくり事業費補助金 3792万円
- 公共施設省エネ改修設計業務委託料 508万円

防災力を高めます。

- 木造住宅耐震改修工事費補助金 400万円
- 地域防災力強化事業費補助金 137万円



町並みを保持します。

- 伝統的建造物群保存地区補助金 3300万円
- 町並み保存地区保存対策費補助金 1050万円

商工業を応援します。

- 従業員への家賃補助支援補助金 1800万円
- DC特別イベント実施委託料 1180万円

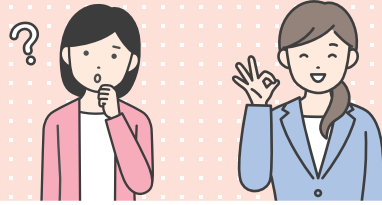
人口減少対策に引き続き取り組みます。

- 空き家リフォーム補助金 1010万円
- 結婚新生活支援事業費補助金 900万円
- 移住支援事業費補助金 200万円
- 子育て世帯等マイホーム取得支援補助金 3000万円
- ラグビータウンプロジェクト推進事業費補助金 1250万円
- 浮羽究真館高校生徒下宿等費用支援補助金 960万円
- 奨学金返還支援補助金 360万円
- 結婚婦応援タクシー委託料 400万円
- 関係人口拡大事業委託料 1504万円
- 観光・ツーリズム推進事業委託料 1896万円
- 出産・子育て応援給付金 1800万円



浮羽究真館高校

総括質疑



Q

浮羽究真館高校は定員割れが続いている。対策をどう考えているか。食堂運営支援など考えられるが。

A

現行の下宿生支援が、ラグビー部への支援と捉えられているが、ラグビー部限定ではない。食堂への電子レンジの設置要望は検討する。

Q

うきは市の農業の将来のために、充実したプロジェクト会議の開催を。

A

令和6年度には会議を立ち上げ、関係者の意見をしっかり聞いて、農地の集積集約と担い手確保に力を入れる。

Q

公共施設の集約は前倒しで考えてもらいたい。

A

計画に沿って長寿命化、集約化と複合化をしていく。計画見直しも考える。

Q

ルリー口福岡を含め、スポーツ推進計画の策定により、スポーツによるまちづくりの推進を。

A

多くのアスリートが育っている。他市の状況も見ながら考えていく。

Q

民生分野での国の施策は生活困窮低所得世帯に重点化しており、うきは市は高齢者世帯や子育て世代への支援はしっかりしてきたが、現役世代への支援が抜けている。

A

生活弱者支援が政策の基本。下水道(し尿くみ取りを含む)料金補助やプレミアム付き商品券販売は全市民が対象。

Q

マイナンバーカードを活用して、一部の証明書類のコンビニ交付が始まるが、山間地域の方にはメリットがない。導入に加えて継続には大きな費用がかかる。市民への広報と、経費削減をどうするか。

A

これまで、費用対効果を考えて踏み切れずにいたが、マイナカードの普及と近隣自治体でのコンビニ交付の増加を見て踏み切った。ご理解いただきたい。

Q

地域交通計画の策定に時間がかかりすぎている。デマンド交通の社会実験は、他の自治体では首長判断でやっている。

A

西鉄バスの神杉野線は運転手不足で廃止案が浮上している。運転免許返納者や観光客の二次交通手段としても地域交通は重要である。所管と検討していきたい。

Q

保育士の確保に苦労しているようだが、対策は。

A

民間保育園の保育士不足による園児の受入数の減少は、公立保育園でカバーしている。保育士就職支援金等、処遇改善に努める。

Q

9月議会で厚生文教常任委員会から政策提案した「高校生世代までの医療費無償化」が予算にないが、どうするつもりか。

A

市長選挙を控え、骨格予算にしている。選挙後の肉付け予算で説明する。

令和6年度3月定例会

【会期】 令和6年2月29日～3月21日(22日間)

【上程された議案】

- ▼ 専決処分の承認 2件
- ▼ 議案 21件
- ▼ 陳情 3件
- ▼ 追加議案(議案2、決議1、発議2、意見1) 6件



南新川にたなびく鯉のぼり

主な議案

今回の議案の内容は、令和6年度の予算に関する審議をはじめ、物価高騰による生活困窮者への国の支援給付に関する補正予算や、辺地に係る総合整備計画の策定、観光振興計画の策定、障がい者計画の一部改正や新条例の制定などが行われ、令和6年度スタートに向けて、実りのある議会となりました。

また、ルリー口福岡に対する市有地の無償貸付けに関しては、事前に新聞報道等の関係もあり、議員各自の様々な思いが詰まった活発な意見が飛び交い、慎重に審議が行われました。この議案については追加議案として、議会最終日に、総務産業常任委員会から、無償貸付けに関する附帯決議も出され、最後まで緊迫した審議となりました。

専決処分

うきは市少人数指導特別教員の給与等に関する条例の一部改正について

県の給与条例改正等により、うきは市で勤務する少人数指導特別教員の給与等を改正するものです。

令和5年度一般会計補正予算(第9号)

物価高騰による生活困窮者支援給付金を早急に実施するもので、歳入歳出予算の総額に、1億3216万円を追加し、歳入歳出それぞれ194億1610万円となりました。

令和5年度補正予算(第10号及び第11号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ8493万円を減額し、歳入歳出それぞれ193億3117万円とするものです。

主な歳出

〈総務管理費〉

3552万5千円
企業版ふるさと納税で、ラグビータウンプロジェクトへの寄附をいただいたもので、ふるさとまごころ基金を増額するものです。

また、地域活性化推進費としてうきは市運送業者を支援するもので、事業者50社175台を見込んで支給するものです。

〈選挙費〉

△179万2千円
船越財産区及び八竜財産区議会議員選挙が行われなかったため、減額するものです。

〈農業費〉

△734万円
ため池等整備事業の補助金で、県の事業費確定に伴い減額するものです。

〈商工費〉

1480万円
プレミアム付き商品券発行事業補助金として2100万円、全額

を令和6年度に繰り越して執行するものです。今回も電子商品券で一本化し、2億円分を20%のプレミアム率をつけて実施します。

また、従業員への家賃補助支援補助金は、実績により400万円減額するものです。

〈社会福祉費〉

△1769万3千円
障がい者対策費においては、障がい者福祉サービスマ等の新規認定件数の増加による審査会手数料の増やグループホーム等の利用者が増えていることから、1630万円の増となりますが、国民健康保険事業特別会計や後期高齢者医療事業特別会計への繰出金が減ったことにより、減額するものです。

〈児童福祉費〉

△3728万6千円
吉井幼稚園の園舎建替え工事が延期されたため、その補助金を減額するものです。

〈保健衛生費〉

△2506万3千円

減額の主な理由としては、新型コロナウイルスワクチン集団接種の終了に伴うものです。また、総合健診委託料においては、受診者が予想より少なかったことにより減額されました。

〈保健体育費〉

5952万1千円

総合体育館のメインアリーナ床板改修工事費です。メインアリーナ工事は完了しているが、玄関前ウッドデッキの改修も行っており、工事が4月以降までかかることから、繰り越すものです。

〈社会福祉費(11号)〉

1159万2千円

今回、国の指導で委託費に消費税が発生することが明らかになり、委託先の社会福祉協議会が支払う平成30年から令和4年までの消費税と延滞金を支払うものです。

国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額から、それぞれ1792万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を、39億1918万5千円としました。

後期高齢者医療事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額から、それぞれ2927万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を、5億2064万3千円としました。

うきは市下水道事業会計補正予算

下水道事業費用を1千万円増額し、総額13億945万9千円としました。

教育委員会委員の任命について

任期満了に伴う、新たな教育委員1名の任命に同意しました。



いえなが ゆりこ
家永 由里子 氏

辺地に係る総合整備計画の策定について

辺地債の起債対象事業の裏付けとなる計画で、令和6年度から令和10年度の計画を可決しました。

第2期うきは市観光振興計画の策定について

今回の計画は5年間の計画で、観光みらいづくり公社というDMOを更に定着し、確立していく期間として策定されています。その中で観光公害と言われるオーバーツーリズム対策やインバウンド対策、それに市民目線の部分を加えて策定されています。議員からは、町中の駐車場整備等に対する意見も出る中、来年度はしっかりと案内表示対策に取り組むことで、原案どおり可決されました。

うきは市公園条例の一部を改正する条例の制定について

12の市立公園のうち、5つを公園から除

外するため、条例の一部を改正するものです。(除外する公園)

城ヶ鼻公園、合所ダム公園、長岩公園、清水湧水ふれあい広場、白壁交流広場の5ヶ所です。

うきは市障がい者計画の策定について

今回の計画は、障害者総合支援法に基づき策定する「第7期障がい福祉計画」及び「第3期障がい児計画」を一体的に策定しており、計画期間は3年間となつていきます。

白壁交流広場及び白壁の小路の設置及び管理に関する条例の制定について

うきは市立公園から、白壁交流広場が除外されることや現在整備している吉井郵便局西側の歩行者専用通路が完成するので、この2か所の活用を図り、地域の活性化を推進することを目的として、設置及び管理に関する

条例を定めるものです。

うきは市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

「戸籍法の一部を改正する法律」の一部が令和6年3月に施行されることに伴い、新たに「戸籍電子証明書提供用識別符号」及び「除籍電子証明書提供用識別符号」の発行が新設されます。これにより、本籍地以外の市町村窓口においても、「戸籍証明書」等の交付等が請求できるようになります。

うきは市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」の一部が改正されたことに伴い、市条例も改正するものです。いずれの議案も全会一致で可決されました。

議員政治倫理検証特別委員会設置について

市の執行部から、議員による公文書偽造疑いの件について、うきは市議会基本条例第21条第4項に定める検証の場を議会内に設置し、今回の事件がなぜ起きたのか、その原因を明らかにして、二度とこのようなことが繰り返されることのないように、適切な対応をとってほしいと要請がありました。

議長は、議会自らが過ちを起ささないように、きちんと襟を正す意味で、今回の事件の重大性を検証すべきと判断し、議会基本条例第21条第4項に基づいて、特別委員会の設置を提案し可決されました。

議員政治倫理検証特別委員会

- 委員長 野鶴 修
- 副委員長 榑藤 英樹
- 委員 組坂 公明
- 樋口 隆三
- 高木 亜希子

市有財産の貸付けについて

旧浮羽東高校跡地について、ルリー口福岡に20年間無償で貸付けを行うことが、提案されました。この問題は、事前に西日本新聞が報道したことや、現在東高校跡地のグラウンドを借用している浮羽ボーイズからの陳情書も出ていることから、活発な意見が議員から出されました。

【反対意見】

浮羽ボーイズから陳情が出ている。浮羽ボーイズとの話し合いができていないので、賛成できない。

グラウンド整備資金として2億円の金額が出されているが、資金調達はできるのか疑問である。

【賛成意見】

ルリー口福岡のうきは市への貢献度は大きいものがある。今後の期待も含め、今こそ支援すべきだと思つ。

浮羽ボーイズの使用

浮羽ボーイズの使用に関しては、使用許可証で3月31日までとなつている。ボーイズに対する説明が遅かつたことについては、市も反省して陳情に対する一定の配慮も検討している。うきは市もラグビータウンプロジェクトを推進している中で、協力すべきだと思つ。

ルリー口福岡の目指す「うきはガーデンパーク」構想(仮称)は、

うきは市民にとつても非常に望まれている施設である。ルリー口福岡だけにこのことを任せるのではなく、市も連携をとつて、実現に向けて支援していくべきだ。

採決の結果

反対3 賛成10で可決されました。

【附帯決議】

市有財産の貸付けについて、旧浮羽東高校跡地の貸付けにあつては、次の事項に留意するよう強く求める。

- ①うきは市は、ルリー口福岡が掲げる「世界に羽ばたく子ども育成と3世代移住を実現するうきはガーデンパーク構想(仮称)」の具現化に向けて、連携して取り組んでいくこと。
- ②うきは市及びルリー口福岡は、駐車場問題、光・騒音等の問題、渋滞対策など、周辺環境への影響に十分留意して進めること。
- ③うきは市としての整備計画や財政支出計画について示し、その事業進捗状況について随時報告すること。

採決の結果

反対3 賛成10で可決されました。

陳情

浮羽東高校跡地使用に関する陳情

浮羽ボーイズ代表
古賀 秀樹

- 一、使用期限の見直し
- 二、使用できない場合の代替案の検討
- 三、スポーツアイランド野球場使用の優先考慮

一については、執行部も猶予期間を設けることで検討しており、その他の要望については、他の団体との調整や公平性も勘案することが必要とのことでした。執行部に対し、今回の陳情については浮羽ボーイズとの話し合いを十分行い、一定の配慮を行うことを附帯意見として付すことで、趣旨採択となりました。

就学援助費の認定基準の見直しと改善について

中島 健一

就学援助費の認定基準の見直しについては、実施していない市町村が県下で4市町村です。また、早期の見直しについては令和6年度からという要望でしたが、執行部より今回は市長選挙前の骨格予算であり、新たな認定基準による予算は今後の肉付け予算で検討したいということでした。最終的には、認定基準等については早期に方向性を示すこと、また今後の肉付け予算で計上するのであれば、開始日を4月とすること、更に基準値については、県下市町村で多く採用されている数値を参考とすることなどを附帯意見として付すことで、趣旨採択となりました。

国政に関する意見書提出のお願い

うきは市民の会

会長 熊抱 昭夫

国の政策に関し、政治資金規正法違反に端を発した政治への非難の声を代表して、3つの政策に関し意見書提出の要望がありました。結果として一部採択となり、次の項目に関する意見書提出となりました。

意見書

国の財政健全化を求め意見書を提出

条例の制定

うきは市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

この条例は、市議会議員が市との請負契約を年間300万円までできるようになったことに伴い毎年6月に議長に対し、契約内容等について報告することを条例で制定するものです。

うきは市政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について

条例の中にある「市工事等」を「請負契約」に改めるものです。地方自治法改正に関連する内容になります。





のづる おさむ
野鶴 修
議員

大石高見交差点周辺の 排水対策と県道保木吉井線の 拡幅工事について



福岡県土木事務所の担当課も
道路の冠水状況を把握している



市長

野鶴 昨年7月10日の大雨で、大石高見交差点は冠水し、通行止めとなった。令和7年3月に完成予定と聞いているが排水計画は見直して、対策工事を進めているのか。

市長 排水対策として交差点の中央部分雨水が浸透する構造に計画変更、歩道部分については透水性の舗装で行う予定としている。また、交差点北側の用水路への対応として、市の農林振興課で、水位が増せば自動転倒する堰に改修する予定である。

野鶴 高見交差点に接続する県道保木吉井線、これがまだ非常に狭いままの状況である。交差点から、日田の方へ向かって旧山春農協跡地までの幅員が非常に狭く、地元としても改良工事の要望が強い。

市長 県道保木吉井線が道路が狭く、歩道もない状況であることは把握している。県には、現在多くの事業を実施していただいている。まずは、現在行われている事業を早期に実施していただくよう要望していきたい。

建設課長 基本的には県道保木吉井線の拡幅工事については、県の事業になるので、地元からそういった要望を正式にいただいたら、直接県の方に、要望に伺いたいと思う。

その他の 質問

▼中山間地域
の農村・
農業を守る
対策について



歩道がない県道保木吉井線



ごんどう ひでき
権藤 英樹
議員

水道事業基本計画見直し後の 事業費の概算は



50年間の事業費試算で
約352億円



市長

権藤 人口減少が進んで今後の税収が減少する本市の担える金額か。

市長 今後も人口減少が見込まれる状況であり、一般会計からの繰入金が必要になる。一般に必要になるだろうが、詳しくは十分精査していきたい。

権藤 市民の皆さんの議論の種になるような資料やパンフレットを是非出していただきたい。

市長 社会基盤の充実や水道事業の必要性などもパンフレットに盛り込みながら、しっかりと市民の皆さんに今の現状、そして将来についてを語りながら説明していきたい。

【浮羽実証館高校の支援について】

権藤 就学支援策は在学する生徒が必要性を強く感じていることから優先すべき。そうした観点から在学生にアンケート調査を実施してはどうか。

市長 学校側の意見を聞き、検討していきたい。

権藤 朝倉市域からの通学利便性の悪さについての改善要望がある。本市のマイクロバスを用いたスクールバスの運行を検討できないか。

市長 財政的な負担はPTAが行った当時より安く抑えられる可能性はあるものの、様々な面で検討する必要がある。



今後の水道事業の議論には
市民に分かりやすい説明と情報提供を！



たかまつ ゆきしげ
高松 幸茂
議員

防災(地震)対策について

多重的に対策を進めていく



市長



高松 市の備えの現状と限界を伝え、市民意識の向上を図ってほしい。

市長 計画的に備蓄し、民間事業者との防災協定を締結しており、国県とも連携し、対策を進める。

市民には、防災講習会で日頃の備えや助け合いの重要性を訴えている。

高松 伝統的建造物は耐震補強が必要。建物改修補助も増額を望む。

市長 市長選挙前なので、新たな施策への回答は控える。

高松 補助金の「代理受領制度」導入を望む。

〔人口減少時代の施策について〕

高松 計画中の事業や施設補修予定の見直しや廃止の考えはないか。

市長 上水道事業は、加入割合の確保が一層重要。

公共施設は計画に基づき、予

防保全型維持管理、複合化や遊休施設の売却を進め、財政負担軽減に努める。

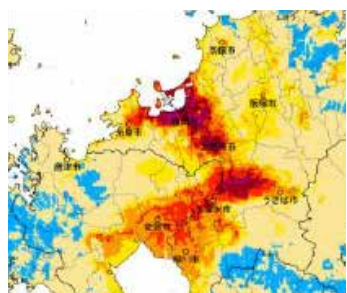
高松 国の対策にも子育て支援が目立ち始めたが、市の支援策充実はどうか。

市長 令和6年度は53の独自施策に予算を付けた。移住者は増加傾向。

代理受領制度

業者が施主への補助金を代理で受けとるもの。施主は、補助金分だけ業者への支払が少ない。

警固断層帯南東部での地震発生を想定した場合の推定震度



地震動予測地図2020年版(地震調査研究推進本部)



ひぐちりゆうぞう
樋口 隆三
議員

带状疱疹予防ワクチン接種に一部助成を導入すべきでは

国の検証結果や他の自治体の動向を注視していきたい



市長



樋口 带状疱疹は、脊髄から出る神経節という部位に潜んでいる水ぼうそう带状疱疹ウイルスが活動を再開することで発症する。

一度発症し、手遅れると症状がひどくなり、治療期間も数ヶ月から数年に長引く。大変面倒な病気であり、带状疱疹予防対策が講じられ、一部助成を導入すべきだと考えるが、市長の見解は。

市長 带状疱疹は、水ぼうそうの治療後も潜伏していた水ぼうそう带状疱疹ウイルスが、加齢や過労、ストレス等による免疫力の低下により再び活動、増殖をして発症する病である。予防に對して带状疱疹ワクチンの有効性や安全性については、政府から新たな知見が報告されているが、ワクチン接種の費用対効果については、データの蓄積が十分で結論を得ていない。

国の検証結果や他の自治体の動向を注視していく。

〔中小学校の給食費無償化の実施について〕

樋口 人口減少の歯止め対策としても学校給食費の保護者負担無償化を導入できないか。

市長 人口減少対策に一定の成果を見ており、今後も取組みを継続する。また、地方創生臨時交付金を活用した食料費、学校給食費に対する助成、次年度4700万円を計上している。

その他の質問

▼高齢者就業支援の充実について





くみさか きみあき
組坂 公明
議員

甚大な被害が発生した7月豪雨
頻発する豪雨災害対策の
今後の取組は



「筑後川水系巨瀬川流域治水プロジェクト」に沿って河川改修事業を行っていく



市長

【防災対策について】

組坂 うきは市は、どこをどのよ
うに巨瀬川流域整備してい
くのか。

市長 高橋橋から清宗橋の間の橋
りよう3本、護岸の引堤等を行
う。また、浮羽町と吉井町の中間
に調整池を県で計画している。

組坂 今回の緊急治水対策プロ
ジェクト、巨瀬川の左岸の支川
を中心に改修が計画されてい
るが、右岸の災除川、美津留川の
整備も併せてお願いしたい。

市長 巨瀬川の右岸と左岸につい
ては、一体的にこのプロジェクト
で河川改修を図っていきたく
いと思う。

【消防団について】

組坂 若者の極めて少ない過疎地
(姫治地区)の消防団を今後どう
維持していくのか。

市長

団員確保は大変厳しい状況
にあり、山間部は人口減少や高
齢化に伴い一層厳しい状況にあ
ると認識している。地域と連携
した勧誘活動やOB団員募集等
で団員確保に努め、消防団全体
でカバーし、消防署と連携しな
がら火災・災害対応に当たって
いきたい。

組坂

姫治地区の団員は10人中実
働団員8人。そのうち2人は市
外の方。また、3人は市外で働い
ている等の現状を承知いただき
たい。人員確保するにも人がい
ない。中山間地の消防団に対す
る早急な対策をお願いする。



速やかな河川整備を
(7月豪雨災害)



たかき あきこ
高木 亜希子
議員

創造的縮小の観点から
公共施設、特に浮羽中老朽化と
将来的な小中連携への考えは



これからの社会情勢を見据えた
新たな視点での策定も必要になると考える



市長

高木

私たち住民と地域、行政と
一体となってこれからの人口
減少社会すなわち歳入縮小社
会を見据え、子どもたちの時代
に負担を残さないよう取捨選
択をし、今後必要とする公共施
設に対してはしっかりと投資を
する。そのような指針・メッセー
ジを打ち出す考えはどうか。

特に浮羽中老朽化問題は避け
て通れない。将来的な小中連携
も含め、創造的に縮小していく
ために大きなアイコンとなり
うるテーマだ。見解をうかがい
たい。

市長

総合管理計画に基づく取
組を令和8年度までに進めて
いくことが重要。その上で9年
度からの新計画については新
たな視点での策定も必要にな
ると考える。

教育長

校舎建て替えも含め、計
画見直しを検討している。今後
も小中連携によるメリットや
課題を整理し、保護者や地域と
共通理解を図りながら検討を
進めていきたい。

その他の質問

- ▼今後の中学校の管理運営体制及
び予算措置について
- ▼浮羽中学校の通知表・評定の誤
りについて



浮羽中建て替え、
次世代へ向けた投資を!





いわぶち かずあき
岩淵 和明
議員

農業基本構想を協議する場合は



農業振興プロジェクト会議等で検討する



市長

岩淵 基本構想を促進するため農業振興計画が必要ではないか。

市長 農業振興計画を作る基本条例は、なぜ農業なのか市民の皆さんからの納得が必要。またうきは市の様々な産業の中で整理が必要と考えている。

岩淵 再開する農業振興プロジェクト会議は何を議論するか明確にし、農業の危機的状況を前提に執行部が提案しないと議論が煮詰まらず成功しないのでは。

市長 市独自に地産地消の観点から幼保小中学校で地元食材提供、テロワール・フルーツのPR、オーガニックビレッジ宣言に取り組んできた。担い手にどう農地をつなぐか、管理運営組織母体の再編等大きな課題で、食料・農業・農村、農業振興全体の意見を聞いていきたいと考えている。

〔保育料算定基準見直しを〕

岩淵 住民税均等割課税世帯の減額階層の新設と、第3から9階層の保育料を見直し所得に対する負担の軽減をはかれ。

市長 保育料の軽減措置を近隣自治体で取り組み実績があることは承知しているが、医療費完全無償化や学校給食無償化等総合的に検討が必要で具体的な回答は控える。



3歳未満保育児 292人
(令和5年12月現在)



たけなが しげあき
竹永 茂美
議員

回覧文書としたために
床下浸水被害義援金申請が
12月末時点で50件であったが、
どう思うか



床下浸水被害への義援金支給が初めてで周知が届いていなかった



市長

竹永 床下被害者からの12月末と2月末の義援金申請数は。

福祉事務所長 12月末申請数は50件、締め切った2月末申請数は206件。

竹永 417件の床下被害者から、2月末申請数が206件しかなかった事をどう考えるか。

市長 可能な限り周知した結果だと思ふ。

竹永 自分のことよりも能登地震の被害者に寄り添う姿は、互助・共助のうきは市になるよい機会ではないか。

市長 そういう思いの市民がおられることはしつかり受け止める。

竹永 PTAが会員以外の方から準会員のPTA会費を集めているが、本当に賛同するものだけにという徹底を。

教育長 賛同者のみにするよう各学校を指導したい。

竹永 夏休みのプール開放にもけ、調査は可能か。

教育長 しかるべき時期に学校に尋ねる。

竹永 六鼓橋の横断歩道に子どもがいたのにもかかわらず減速せず通過した自動車があり危険だった。子どもの安全を促す桃太郎旗の作成は。

市民協働推進課長 交通安全協会と話しながら検討したい。

その他の質問

- ハラスメント防止について
- 学校での超過勤務実態と削減策について

町域	報告数
吉井	333
浮羽	84

7/10 豪雨 床下浸水被害について
情報公開に基づく地区別被害数
(区長からの報告数)



総務産業常任委員会

農業政策の課題に関する調査

調査期日・調査場所

- ① 令和6年1月31日 山口県柳井市 アグリ南すおうKK
 ② 令和6年2月1日 広島県福山市 広島県果樹農業振興センター 沼隈農園

調査趣旨

- ① 農業の担い手の確保を解決するための法人連合体づくりについて
 ② 生産農家の高齢化、担い手の減少、耕作放棄地の増加などの課題解決の取組について

所見 アグリ南すおう株式会社は、集落営農法人単独では限界を感じつつあった高齢化による担い手不足を解決し、生き残りをかけるために21法人で組織化されています。今後のうきは市での法人組織づくりに活かさないかと考えます。

沼隈農園は、平成27年から令和5年までに16名の研修生を受け入れ、14名が就農しています。果樹振興と担い手育成においてもトップの決断による方針決定がなされ、市長・JA組合長等によるプロジェクト会議開催の影響が大きいようです。

視察におけるQ&A

アグリ南すおうKK

Q 連合化に向けたところで行政側がどのような関わりを持っていったのか。

A プロジェクトチームを作ったとき行政のトップを集めて説明会を行った。火付け役だと思う。

Q 連合化に至るまでの経過・苦労したことは。

A 10年後を考えた会社組織を作って横の連携を取っていかないと取り残されるという話を説いていった。立ち上げまでに2年半程要した。

果樹農業振興センター 沼隈農園

Q 福山市の農林水産振興ビジョンが果樹園芸の担い手・集積集約にどのようにつながっているのか。

A 各分野のめざす姿に農地の活用方法が描かれているが、果樹分野に特化したものではない。土地適正に応じた農地の集積・集約化が進む中、効率的で生産性の高い農業が次代の担い手により始められている。

会計年度任用職員 包括業務委託に関する調査

調査期日 令和6年2月8日(木)～9日(金)

調査場所 佐賀県西松浦郡有田町、熊本県上天草市

調査趣旨 うきは市が導入を検討している市の会計年度任用職員の包括業務委託(民間事業者への委託)について、本市と同規模程度で先行して導入している近隣自治体を訪ね、メリットやデメリット、本市で想定される今後の課題等の認識を深めることを目的に調査を行いました。

所見 両自治体とも、民間事業者への業務委託により、人事労務管理の負担軽減や正職員の政策的業務への効果的な充当などのメリットも見られましたが、会計年度任用職員との給与や待遇面での差が生まれることに随時対応が必要なことや、指示系統が複数ある部署には適用しにくい(偽装請負ととられかねない)ことなど、デメリットも多く見られました。特に本市が導入を検討している学校現場への導入については両自治体とも行っておらず、文科省の見解も含め、かなり難しい内容であることをあらためて認識することができました。今後も本件に関しては、慎重な調査と検討を進めていきます。

うきは市の医療状況に関する調査

調査期日 令和6年1月16日(火) **調査場所** 浮羽医師会館

内容 うきは市の医療の現状を把握し、今後の課題を共有することを目的に、浮羽医師会の皆さんとの意見交換を行いました。意見交換では、带状疱疹のワクチン接種の有効性と助成のあり方についてや、本市の地域包括ケアシステムの現状について、住民健診の受診率向上に向けた取り組みについてなど、参加者から様々な意見や要望が出されました。

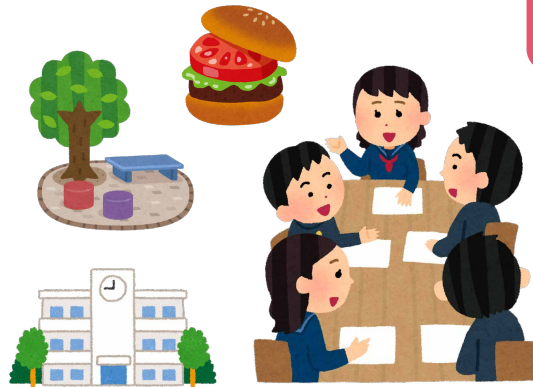


厚生文教常任委員会

浮羽中学校2年生・総合学習へ
ゲストティーチャー参加



2月5日に開催された2年生の総合学習「うきは市の未来について考える」へ、市役所の若い職員の方々と共にうきは市議会議員が参加し、座談会形式での対話が行われました。最初は少々緊張していた生徒たちでしたが、時間をかけて対話をしていくうちに、たくさんの質問が出ていました。



「うきは市に遊べる公園や施設ができないか」「中学校がとても古いのだけれど、新しくならないのか」「ファーストフードのお店やショッピングモールはどうすればお店してもらえるのか」など、中学生らしい視点の質問も数多く出されていました。

本事業が、「うきは市の未来」に向けて「主体的に考え、行動する若者」を増やすきっかけとなることを願っています。

浮羽真館高校生徒との
意見交換会



2月16日に開催された浮羽真館高校生徒と市議会との意見交換会は、高校生の意見を議員が聴くという形で行われました。

「20〜30代をうきは市にもっと呼び込むには?」「真館をもっと魅力ある学校にするために行政に望むことは?」「もしも自分が市長なら、どんなまちづくりを進めたい?」の3つのテーマに対して様々な意見が出されました。



実際に在籍している高校生の意見を聴くことで、議員の考えが及んでいない課題もあり、今後とも連携していく必要性を感じました。

この意見交換会で出された課題を私たち議員が市政へ届けるだけでなく、将来彼らが「自分たちの意見をうきは市政に活かすのだ!」と思えるようになることが真の成長と言えるでしょう。心から期待しています。

議会運営委員会 DX推進検討会

3月議会よりタブレット端末を利用開始！

令和6年第1回定例会（3月議会）より、ペーパーレス会議システム「スマートディスプレイ」を活用したタブレット端末の使用が開始されました。



2月に研修会を実施し、議員に1台ずつタブレット端末が貸与されて以降、各議員による取り扱いに慣れるための努力もあり、3月議会での試験運用は滞りなく終わることができました。

今後は、スケジュール管理機能やメッセージ通信機能など、さらなる機能の活用に向けて研修等を徐々に進めていくとともに、今回課題となった点の改善も行いながら、令和6年中の習熟と令和7年からの完全ペーパーレス化に向けて取り組みやサポートを行ってまいります。



近隣の先行自治体を視察し意見交換を実施

ペーパーレス会議システムやタブレット端末の導入に先立ち、1月25日（木）に同じシステムをすでに導入している近隣の朝倉市議会と古賀市議会をDX推進検討会のメンバーで視察し、意見交換を行いました。

朝倉市議会では、システムの概要について詳しく解説を受けた後、実機によるデモンストレーションを行っていただきました。また、古賀市議会では、システムの導入から活用までのルール作りに携わった議員の皆さんとの意見交換の場を設けていただき、検討会



メンバーが感じていた様々な課題や疑問に対して貴重なアドバイスをいただきました。

今後も先行自治体の有効な活用例などを研究して、うきは市議会に活かしていきます。



「浮羽」は、良い所ですね

ある調査で来年卒業する女子大学生、5人に1人が「子供は欲しくない」と、考えているようです。経済面への不安が人生観に影響を与えている可能性があるようです。

今、日本全体の人口が減少しており、うきは市も近い将来の現状が目に見えています。仕事柄、他県から移住して来られた方に「浮羽に住んでどうですか?」と尋ねると、「浮羽は良い所ですね」と返答があり、更に「どこがですか?」と尋ねると、「自然があり、食べ物もおいしい、地下水があり、水道代もいらない、災害もない、一番の決め手は人間性だ」と。



星野 達夫さん
浮羽町西隈上在住
理髪店オーナー

しわ
紫波町を
紹介します。

「市への要望」

岩手県紫波町(過疎地)
人口3万人

全国からの視察、訪問者は年間100万人。地方ならではの町づくりの成功、人口増加の源泉は何なのか!行政視察を希望します。

けば聞くほど目からうろこ、「浮羽」が、誇らしく思えてきました。

若者は学校を卒業したら都会へ出て行き地元には定着しません。働く場所がなければ無理かもしれません。若者に働く場所を提供する、そのためには、企業誘致はもちろん、空き家を再利用して生活を体験し、公園を整備して子育て世代の憩いの場所をつくるなど、人が集まる場所をつくり、地域とのふれあいを感じてほしいと思います。

そして、先に移住して来られた方々の意見や感想などを発信して、うきは市をアピールし、各市町村の人口増加地へ視察を行うなど、うきは市の将来像を構築してほしいと思います。

表紙
紹介



浮羽中学校2年生の総合学習の時間に、市議会議員もゲストティーチャーとして参加しました。実施後のアンケートでは、中学生の皆さんが、今回の対話にたくさんのご感想を寄せてくれました。ありがとうございました。ありがとうございます。

議会を傍聴しませんか

6月議会定例会は
6月7日(金)開催予定です。

一般質問は
6月10日(月)
6月11日(火)
の予定です。



Youtubeのライブ配信と録画配信もぜひご覧ください。

編集後記

2月の全国物価指数は生鮮品を除く総合指数は2.8%と前月を超えました。

そのうち食料(生鮮食品を含む)4.8%と高い状況が続き、輸入依存の原料が円安の影響を受け上昇が続いています。賃上げは5%台で推移していますが、平均的には4%台と推計されます。

うきは市の基幹産業の農業や林業は市場価格の低迷が続き、地域の重要な社会福祉事業分野で働く方々の賃金も、地域最低賃金の範囲にとどまり、地域・職業による格差は縮まらない現状です。

地方自治の本旨は、住民の暮らし向上にあります。予算審査を通じて地域経済循環をどのようにつくるのか、引き続きチエックが重要と考えます。

(岩淵和明)



- 発行責任者
議長 江藤 芳光
- 広報広聴委員会
委員長 野鶴 修
副委員長 岩淵 和明
委員 樋口 隆三
高松 幸茂
高木 亜希子
権藤 英樹

議会事務局

TEL. 75-4990
FAX. 75-3342